

2. 整備事業

1 産地競争力の強化を目的とする取組用

(鳥取県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分 (円)			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時 (平成23年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率			計画時 (平成23年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費					その他
湯梨浜町	鳥取中央農業協同組合	果樹 (梨)	【果樹】全出荷量に占めるブランド品の割合を9ポイント以上増加	39.8% (1,254t/3,154t)	39.8% (1,254t/3,154t)	41.8% (1,341t/3,209t)	49.4% (1,607t/3,253t)	50.0%	94.1%	各方面へ出向きブランド品の販路拡大を図ったことでブランド品割合が9.6%増加した	【果樹】全出荷量に占める契約取引の割合を15ポイント以上増加	果樹 (梨)	積極的な契約取引による相対販売体制の実践により契約取引割合が22%増加した	【集出荷貯蔵施設】梨選果機(内部品質センサー、箱詰システム一式)	231,000,000	110,000,000	121,000,000	H25.2.28	今回の整備により鶴の舞等のブランド品の信用を高め、各方面の市場などに出向くなど販路拡大に取り組み、目標達成率は94.1%となった。契約取引は積極的な相対販売体制の実践により目標達成率138.3%となった。今後も品質の高い梨を高単価で取引できるような引き続き生産者への栽培指導を行う。	品質の高い梨選果が出来るようになり、消費者や流通業者からの評価が良く、高単価で販売契約が行えているため、今後はブランド化の牽引力となっている「鶴の舞」等の販路拡大も積極的に進めていただきたい。									

都道府県平均達成率	116.2%	総合所見	平成25年度の評価対象事業は1事業であり、高品質梨の安定出荷、ブランド品の販路開拓、契約取引に向けた取組等により目標を達成した。
-----------	--------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

2 整備事業(経営力の強化を目的とする取組用)

都道府県名	鳥取県	報告年度	平成25年度
-------	-----	------	--------

事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		当該年度の目標(A)	Aに対する達成率(%)	点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年			
18	鳥取市	-	農畜産物処理加工施設の整備 ・鉄骨平屋建546㎡ 1棟 ・事業費 158,046千円 (うち国庫73,150千円)	所得の向上(人)	0	1	1	0.0	高齢化が進み、労働力の低下及び外販(学校給食・加工委託等)にシフトしなければならなかったため、直売売上(JA直売所)が減少した。新たに新規採用(パート職員)を導入している現状である。 今後は学校給食の更なる拡大と新商品の拡大に努めていくよう、引き続き指導を行う。 雇用の増大については目標年度(平成20年度)に達成済み。
				農畜産物等の売上額の増加(千円)	0	47,767	47,767	85.1	
				雇用の増大(人)	0	12		100.0	

都道府県平均達成率	61.7
-----------	------

目標年度	20	第三者機関の開催年月日	H26.3.31	事業実施主体	鳥取いなば農業協同組合	整備施設等	農畜産物処理加工施設
<p>第三者機関によって審議した内容及び意見</p> <p>経営構造コンダクター(鳥取県農業会議)が開催する推進会議において、成果目標に対する達成状況、未達成要因の把握・分析、目標達成に向けた今後の対応方策等について第三者から意見を聴取。 <第三者からの主な意見> ・新組合員の募集について、JA鳥取いなば女性会に広く当たってみるなどの対応が必要。 ・税理士及び中小企業診断士の指導結果を今後の運営に活かし、目標達成に向けて推進すること。 ・JA鳥取いなばの直営施設として、農協が直接、管理運営していくことも検討すべき。</p>						<p>第三者機関の意見を踏まえて都道府県が事業実施主体に対して指導した内容</p> <p>第三者の意見を踏まえ、経営構造コンダクター(鳥取県農業会議)において事業実施主体及び施設の利用組合に対し、適宜指導を行った。 <主な指導内容> ・税理士派遣による会計指導 ・中小企業診断士派遣による経営分析指導</p>	

(添付資料)事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書(別添3)

事業実施状況報告書(事業実施主体等用)

報告年度	都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	計画主体
平成25年度	鳥取県	鳥取市		平成18年度	平成20年度	鳥取いなば農業協同組合
政策目標	担い手の育成・確保		整備事業の取組内容	アグリチャレンジャー支援(女性起業)		

1 施設等の整備状況

整備施設等	事業量等	対象作物等	事業実施主体 (管理主体)	事業費 (千円)	負担区分(千円)				実施 年 度
					交付金	道府県費	市町村費	その他	
農畜産物処理加工施設	鉄骨平屋建 546㎡ 1棟 内部機器一式	農産物全般 (水稻、大豆、小麦、 ジャガイモ、梨等)	鳥取いなば農業協同組合 (野菜畑のシンデレラ 利用組合)	158,046	73,150	0	80,465	4,431	平成18年度

2 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目 標 値		成果目標の達成プログラム								備 考		
		計画時 (H17年度)	目標年 (H20年度)	(上段:計画、中段:実績、下段:達成率)										
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目			
認定農業者等 担い手育成の推進	所得の向上	人	人	0	0	1	1	1	1	1	1	1	高齢化が進み、労働力の低下及び外販(学校給食・加工委託等)にシフトしなければならなかったため、直売売上(JA直売所)が減少した。新たに新規採用(パート職員)を導入している現状である。今後は学校給食の更なる拡大と新商品の拡大に努めていく。	
		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	農畜産物等の売上額の増加	千円	千円	3,283	46,900	47,767	47,767	47,767	47,767	47,767	47,767	47,767		
		0	47,767	0	17,562	24,838	18,892	23,263	31,047	38,357	40,663			
				-	37.4	52.0	39.6	48.7	65.0	80.3	85.1			
雇用の拡大	人	人	1	12	12	/	/	/	/	/	/	目標年度(平成20年度)に達成済み		
	0	12	0	16	15	/	/	/	/	/	/			
			-	133.3	125.0	-	-	-	-	-	-			